

シニア就労に特化した“マンション管理代行業務”のコミュニティセンター
シニアの日常の過ごし方、価値観と、就労意識に関する実態調査を公表
人生・生活に意欲的でアクティブ、就労では時間と体力を重視
＜63～69歳のシニアが望む新たな働き方を探る＞

「マンション管理代行業務」のパイオニアかつ専門会社の株式会社コミュニティセンター（本社：東京都練馬区、代表取締役社長：菅 利恵）は、シニアの日常の過ごし方、価値観、就労意識に関する実態と傾向について調査した分析結果を本日公表します。2014年4月に63歳以上を対象に首都圏1都3県206名、関西圏2府2県206名、合計412名へのインターネット調査を実施しました。特に63～69歳までのシニアが望む働き方について考察した結果をまとめました。

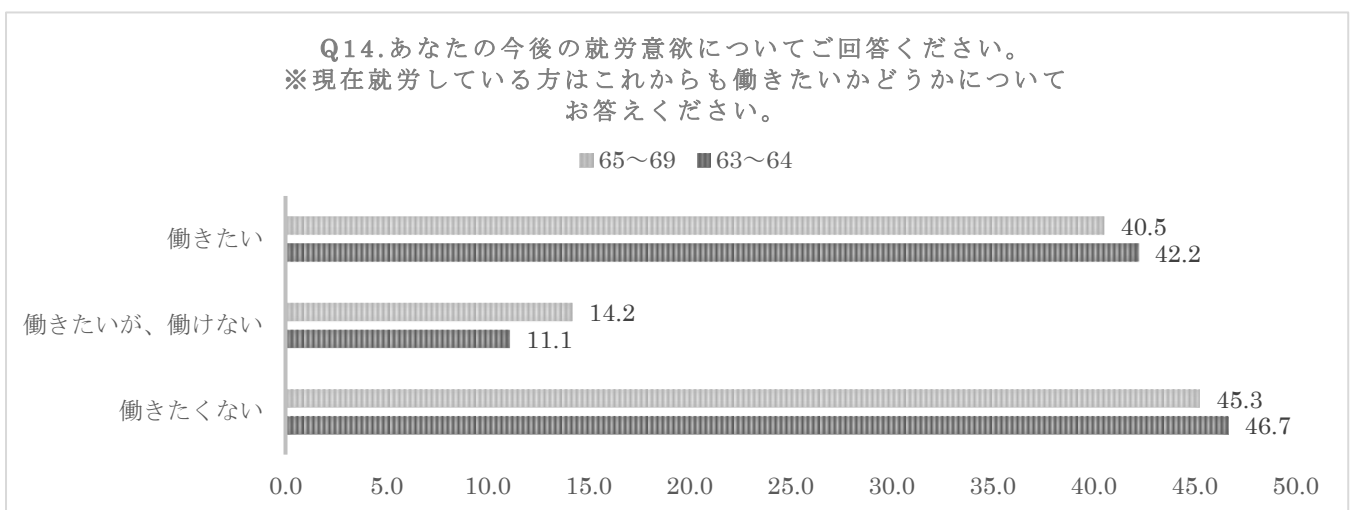
働くシニア数過去最多、希望者数5年連続上昇も求められる新たな働き方

総務省統計局2014年発表によると65歳以上の人口は3186万人で過去最多となっています。同局が2013年9月敬老の日になみまとめた「統計からみた我が国の高齢者(65歳以上)」によると、就業者数は595万人で過去最多、就業希望者比率は、この5年間で多くの都府県で上昇しています。

一方、人手不足が様々な業界で深刻化するなか、主婦やシニア層に対して短時間勤務などの新たな働き方の提案が必要との声もたびたび聞かれるようになっていきます。

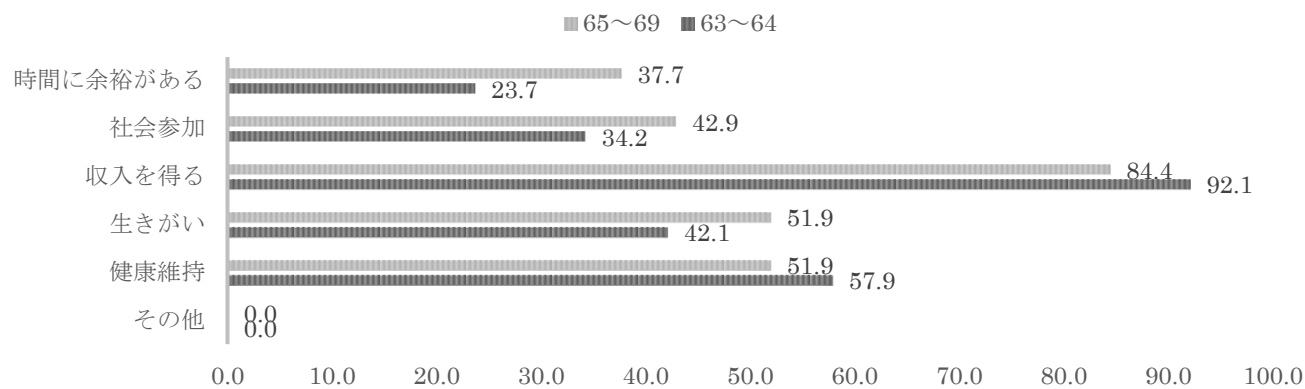
シニアと企業双方の需要の重なる部分を明らかにすることでシニアの新たな働き方を探る

コミュニティセンターは、人材サービス各社がシニア人材の活用に取り出すなどの状況を踏まえ、シニア層の推察される価値観や就労意識などを明らかにすることで彼らの社会参加と労働市場の拡大につながると考え、この度の実態調査を実施しました。同実態調査のなかで特に、高齢者となる直前の63歳、64歳から前期高齢者の前半(69歳)までを対象にシニアが望む働き方について考察した結果を公表します。同対象は企業側が就労を望むと推察される年齢層であるとの認識から、シニアと企業双方の需要の重なる部分を明らかにすることでシニアの新たな働き方を探れると考えました。

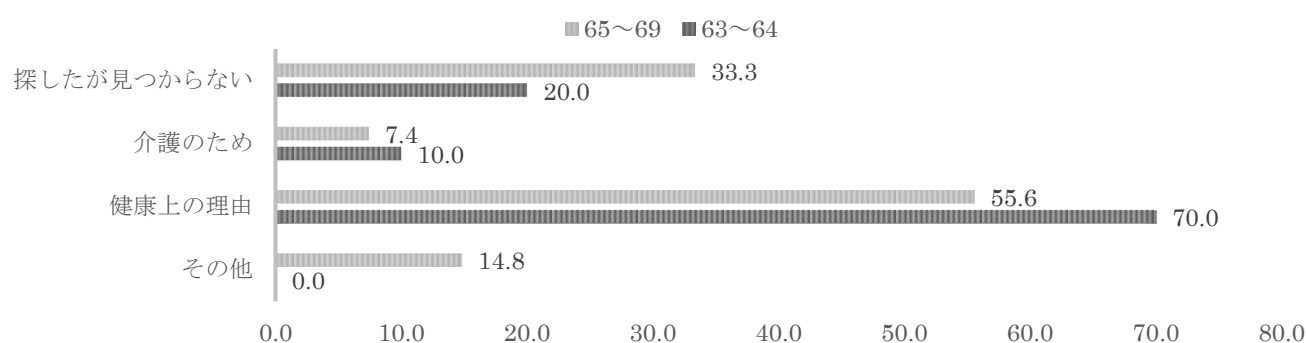


■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先
広報窓口(株式会社 AGENCY ONE 内)荒木、田端

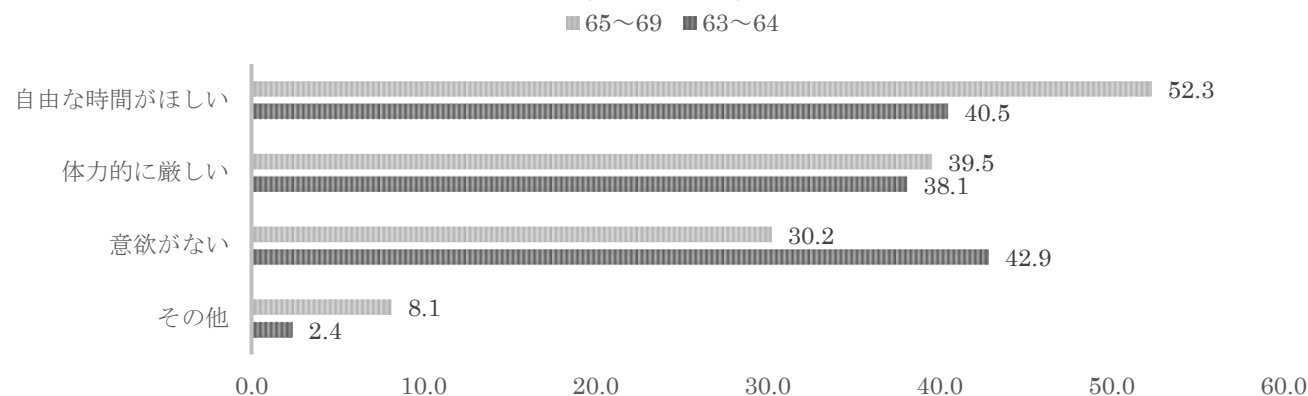
Q15.前問で「働きたい」を選んだ方にお聞きます。
働きたい理由をお答えください。(いくつでも)



Q16.前問で「働きたいが、働けない」を選んだ理由をお答えください。(いくつでも)



Q17.前問で「働きたくない」を選んだ理由をお答えください。(いくつでも)



●「シニアの日常の過ごし方、価値観ならびに就労意識に関する実態調査報告」の要約

- ・ 意欲的でアクティブではあるものの、「自分の健康」や「(経済的、時間的)ゆとり」も求めている
- ・ 「今後の就労意欲」で「働きたい」63~64 歳 42.2%、65~69 歳 40.5%
- ・ 「働きたい」理由は「収入を得る」ためと「健康維持」のためであり、高齢者になると「生きがい」も重視
- ・ 一方、「働きたいが、働けない」、「働きたくない」と回答したものは、障壁となっている事由が「時間」と「体力」に関わること
- ・ 「働きたいが、働けない」、「働きたくない」と回答したものでも、就労における「時間」と「体力」に関する不安

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先
広報窓口(株式会社 AGENCY ONE 内)荒木、田端

TEL:(荒木)080-5443-1922、(田端)090-4189-5378 FAX:03-5534-8057 E-mail:press@agency1.co.jp

や思い込みを払しょくするメッセージを伝達することで態度変容の可能性が高まる

- ・「自由な時間」で「体力的に無理なく」働ける、新たな働き方を提示することで「働きたい」シニア層は増加する可能性がある

●調査の概要

- ① 調査名 :「日常の過ごし方、価値観ならびに就労意識に関する調査」
- ② 調査対象 :株式会社マクロミル登録モニター(63歳以上)
- ③ 調査手法 :非公開型インターネットアンケート
- ④ 調査期間 :2014年4月22日(火)～2014年4月23日(水)
- ⑤ 有効回答者数:1都3県206名、2府2県206名、合計412名

コミュニティセンターは、同実態調査に先立ち、2014年3月に自社登録員(60歳以上から後期高齢者まで)への郵送によるアンケート調査『現職登録代行員の就労意識に関する調査』(東京都・大阪府で就労する合計331名)を行い、その結果をこの度の実態調査項目に反映させました。

コミュニティセンターの労働形態は、登録員と業務委託及び雇用契約を結び、1日短時間労働から同一場所への長期間労働など多様であり、同調査結果によれば、「時間が自由で好きなときに働ける」、「体力的に無理なく働ける」ことなどが登録員から高く評価されていることが判明しました。

かかる結果をもとに同実態調査において、就労における「時間」と「体力」に関する不安や思い込みを払しょくする、これらメッセージを伝達することで「働きたいが、働けない」、「働きたくない」と回答したものでも態度変容の可能性が高まることが推察できました。

コミュニティセンターは、今回の実態調査結果をうけ、自社の労働形態がシニア層の新たな働き方の一つの形として定着する可能性があるかと判断し、希望する企業に対して同実態調査の詳細な報告書を有償で提供することを検討しています。同時に自社の採用活動にも活用し、より多くのシニア層に社会参加の機会の拡充、シニア層に適した「ワークライフバランス」の実現につなげる考えです。同様の調査を来年度以降も毎年実施します。

※マンション管理の代行業務とは

管理員の都合による急な欠勤や欠員の際などに管理会社から依頼を受けて、そのマンションの管理員業務を代わりに行う仕事です。

■株式会社 コミュニティセンター 概要 <http://www.community-center.co.jp>

- ・社名 :株式会社コミュニティセンター
- ・創立 :1993年10月
- ・資本金 :1,000万円
- ・代表取締役社長 :菅 利恵
- ・従業員数 :436名(登録代行員数含む/2014年6月現在)
- ・事業内容 :ビル・マンションの管理員代行業
- ・事業所【東京本社】〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-58-13 TMビル2F
【関西営業所】〒530-0014 大阪市北区鶴野町4番コープ野村梅田A棟1017号
- ・主な取引先
伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社/MTコミュニティスタッフ株式会社
大阪ガスコミュニティライフ株式会社/株式会社ダイワサービス
株式会社日鉄コミュニティ/ホームライフ管理株式会社
丸紅コミュニティ株式会社/三井不動産レジデンシャルサービス株式会社
三菱地所コミュニティ株式会社

(あいうえお順)

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先
広報窓口(株式会社AGENCY ONE内)荒木、田端

TEL:(荒木)080-5443-1922、(田端)090-4189-5378 FAX:03-5534-8057 E-mail:press@agency1.co.jp
3/3